

卒業論文

タイトルタイトルタイトル

武蔵野太郎  
データサイエンス学科  
武蔵野大学

2025 年 1 月

## 要旨

武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科の卒論のテンプレートについて.

# 目次

1	序論	3
1.1	論文の構成 . . . . .	3
2	図と表と数式	4
2.1	図表の配置 . . . . .	4
2.2	図表のキャプション . . . . .	4
2.2.1	図とそのキャプションの例 . . . . .	4
2.2.2	表とそのキャプションの例 . . . . .	4
2.3	数式の参照番号 . . . . .	5
3	見出しの階層構造とスタイルの設定	6
3.1	見出しレベル 2 . . . . .	6
3.1.1	見出しレベル 3 . . . . .	6
4	結論	7
付録 A	付録について	10
付録 B	参照について	11
付録 C	BibTeX について	12

# 1 序論

このファイルは，武蔵野大学データサイエンス学部データサイエンス学科の卒論のテンプレートです． ...

## 1.1 論文の構成

論文の構成を以下に述べる．第 2 章では，図表と数式の配置について述べる．第 3 章では，見出しの階層構造とスタイルの設定について述べる．第 4 章では，結論を述べる．

## 2 図と表と数式

### 2.1 図表の配置

図表は本文中に，出現する場所に配置します．

### 2.2 図表のキャプション

図と表にはキャプションを付けます．キャプションというのは...

#### 2.2.1 図とそのキャプションの例

図 1 に武蔵野大学のロゴを示す．



図 1 武蔵野大学のロゴ

#### 2.2.2 表とそのキャプションの例

表 1 に各機械学習 (ML) の性質を示す．

表 1 各 ML の性質

ML	n(特徴)	m(印象)	性質
楽曲 (Hevner)	6	8	特徴保存
カラーイメージスケール	180	130	印象保存
音相理論	78	20	印象保存

## 2.3 数式の参照番号

式 (1) に特徴ベクトルを示す.

$$S_1 = f(s_i) \quad 1 \leq i \leq n \quad (1)$$

ここで,  $S_1$  は特徴ベクトル,  $f$  は特徴関数,  $s_i$  は特徴の  $i$  番目の要素を表す.

### 3 見出しの階層構造とスタイルの設定

#### 3.1 見出しレベル 2

##### 3.1.1 見出しレベル 3

## 4 結論

本論文では， ...



## 謝辞

本研究の遂行にあたって， ...

## 参考文献

- [1] Takafumi Nakanishi. Approximate inverse model explanations (aime): Unveiling local and global insights in machine learning models. *IEEE Access*, 11:101020–101044, 2023.
- [2] A Vaswani. Attention is all you need. *Advances in Neural Information Processing Systems*, 2017.

## 付録 A 付録について

\appendix 以降の章は付録として扱われる.

## 付録 B 参照について

`\label{ラベル名}`で任意の章や節にラベルをつけ、`\ref{ラベル名}`で参照すると、自動で章番号や節番号が挿入される。

## 付録 C BibTeX について

文献の管理には BibTeX を使うと良い．任意の BibTeX ファイル（‘ファイル名.bib’）に文献情報を書き，`\cite{キー}`で文献を引用する．次に例を示す：

AIME[1] は機械学習モデルを解釈するための新しい手法である．Transformer[2] は自然言語処理のために提案されたモデルである．

参考文献を表示させる位置に`\bibliography{ファイル名}`を書くことで，参考文献リストが自動で生成される．本テンプレートにおけるサンプルの BibTeX ファイルは `references.bib` である．BibTeX 形式の文献情報は Google Scholar などから簡単に取得できる．